

日本体育測定評価学会 2020 年度 第 1 回理事会 議事録

日 時：2020 年 6 月 13 日（土曜日） 14:00～15:38

場 所：Zoom による Web 会議（各自のオフィス等）

出席者：稲垣(会長)，村瀬，太田，武藤(副会長)，池上，酒井(監事)，長澤(理事長)，
佐藤進，山次(副理事長)，石井，石原，大藏，春日，北林，小林，坂井，佐藤敏，
鈴木，高橋，中田由，中谷，中田征，中野，萩，林，松田，宮口，村山，涌井(理事)

書面出席者：松浦（理事）

欠席者：なし

・定足数の確認

議長(長澤理事長)が出席者(29名)と書面出席者(1名)による委任状の合計が定足数を満たしていることを報告し、開会を宣言した。

・会長挨拶

稲垣会長より、開会の挨拶があった。

・議事録署名人の選出

議長が議事録署名人に萩理事と中野理事を指名したい旨を発言し、一同に承認された。

議 題：

I. 協議事項

1. 2019 年度会計決算報告書(案)について、中田征理事(庶務委員長)より、資料 E-1 および E-2 に基づき説明がなされた。池上監事より会計書類を監査した結果、適正に処理されていることを確認したとの報告があった。審議の結果、原案が承認された。
2. 日本体育測定評価学会第 19 回大会収支報告書(案)について、学会大会事務局担当の山次副理事長より資料 E-3 に基づき、コロナ禍の影響で第 19 回大会は WEB 開催としたこと、参加者(67名)、広告収入、シンポジストの謝金等の説明がなされ、審議の結果、原案が承認された。
3. 2020 年度研究助成申請書の審査結果(案)について、大藏理事(研究推進・研究助成委員長)より資料 A-1 および A-2 に基づき説明がなされた。今年度は 1 件の申請があり、審査の結果 1 件(13 万円)を採択したい旨の提案がなされ、審議の結果、原案が承認された。
4. 平成 30 年度および 2019 年度研究助成報告書の審査結果(案)について、大藏委員長より資料 A-1, A-3, および A-4 に基づき説明がなされた。なお、平成 30 年度の報告書(川端先生)は 2 年計画で申請されていたため、2019 年度の報告書(石井先生)と合わせて 2 件審査したとの補足説明があった。審議の結果、原案が承認された。
5. 日本体育測定評価学会第 20 回記念大会について、宮口理事(学会大会委員長)より資料 B-1 および B-2 に基づき説明がなされた。コロナ禍の影響もあるが、現段階では「会場：大阪府立大学、日程：2 月 28 日(1 日開催)」という形式で、開催する方向で検討中と説明がなされた。ただし、一般の「記念大会」のような特別プログラムによる学会大会は次年度に繰り越す予定であると説明された。村瀬副会長より、「記念大会という名称は 20 回大会に対する名称なので、今回の大会に『記念大会』という名称は残すべきでは」と質問が出され、宮口委員長より「今回の 20

回大会は記念大会として名称は残し、規模的には縮小した形式で開催する」との回答があった。また、春日理事より、「開催の方向で準備を進めたとして、開催するかしないかの基準と判断時期を決めておいた方がよいのではないか」という質問が出され、佐藤副理事長からも「もし、開催となった場合、状況によってシンポジストの中に『参加する人』と『不参加を希望する人（参加を躊躇する人）』が出てくる可能性があるかもしれない（不確定要素が高くなる）ので、一般発表だけの開催も視野にいれるべきかもしれない」と問題が提起された。石井理事からは「今後、WEB開催と会場の開催の両方を検討していつてはどうか」、稲垣会長から「Zoomを使った大会も考えてもいいのでは」と提案が出され、宮口委員長より、「今のご意見を参考に委員会で検討する」との回答があった。審議の結果、原案が承認された。

6. 名称変更に伴う会則などの改正(案)について、長澤理事長より、資料 F-1 に基づき説明がなされた。長澤理事長より、今回の提案は、「名称変更をするか否か」を議論し、今後の理事会で「継続審議事項」として残すか否かの提案であると説明がなされた。稲垣会長より「意見を会員に広く募ることも考え、ゆっくり議論していけばよいのではないか」と説明がなされた。太田理事より「体育学／スポーツ・健康科学研究と“・”ではなく“／”が使われている理由の質問があり、長澤理事長より「体育学研究とスポーツ・健康科学研究を分けて表記したため」との回答があり、村瀬副会長より、「今回、提案された名称や文言は体育学会で提案された名称を参考に作成された」と補足説明がなされた。春日理事より「変更名称が長く、測定評価という重要なワードの意味が薄くなる」と意見があり、加えて石井理事より、「シンプルに『日本測定評価学会』とした方が独自性があってよいのではないか」と意見があった。大藏理事より「英文誌が『Human Performance Measurement』なので、これを和訳するか、または『Human performance 学会』としてはどうか」と意見があった。宮口理事からは、「現状の名称がこれまでの経緯からもベストだと思うので、あえて変更する必要はないのではないか」との提案も出された。長澤理事長より、「継続審議事項となるので将来検討委員会が中心となって進めていただけないか」と要望があり、山次副理事長(将来検討委員長)が「理事、評議員から意見を聴取することから始めたい」と了承した。また、稲垣会長より、「Google フォーム等を使用して、会員全員にアンケートを実施してはどうか」との提案も出され、小林理事(ホームページ管理委員長)も今後、必要に応じて対応するとの回答があった。長澤理事長より、名称変更に対しては、「継続審議事項」として残すことの確認があり、審議の結果、原案が承認された。

II. 報告事項

1. 学会事務局報告

- 1) 稲垣学会事務局局長より、会員数（現在：269名）が報告された。
- 2) 稲垣学会事務局局長より、日本体育学会関係について、2019年次活動報告は、本部より連絡があり次第、対応すると報告があった。また、2020横浜スポーツ学術会議 発表抄録の査読に関しては、6名の先生に査読を依頼し、作業は完了したとの報告があった。
- 3) 稲垣学会事務局局長より、本学会 HP に「日本スポーツ体育健康科学学術連合の日本学術会議主催学術フォーラム開催について」を掲載したとの報告があった。
- 4) 稲垣学会事務局局長より、本学会 HP に「文部科学省の令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦について」を掲載したとの報告があった。

- 5)その他として、稲垣学会事務局長より、各担当部署へ申請書や報告書、発送等の作業を行ったとの報告があった。
- 6)稲垣学会事務局長より、本学会英文雑誌の略称について一般の方から問い合わせがあったとの報告があった。理事会後の確認により、「略称はあり、『Hum Perform Meas』となっている。今後もそのように周知していく」と佐藤副理事長(編集委員長)より補足説明があった。

2. 各委員会報告

1)庶務委員会：

中田委員長より、日本体育学会への2019年度決算報告書提出は、本部より連絡があり次第、対応すると報告があった。

2)編集委員会：

佐藤委員長より、資料C-1に基づき、論文審査状況、英文機関誌アクセス件数の報告があった。また、和文機関誌「体育測定評価研究」第19巻(2019)発行について、第19回大会の発表予定者に抄録掲載の確認をしたところ、2名が発表取り下げの申請があったことと、今回は「優秀発表」の審査を中止としたことの報告があった。和文機関誌Web公開作業についても報告があった。

3)学会大会委員会：特になし

4)研究推進委員会・研究助成委員会：

大藏委員長より、資料A-1に基づき、平成30年度および2019年度研究助成報告義務への対応について報告があった。また、研究助成を受けた研究は論文化して本学会へ投稿してもらうよう促していると報告があった。

5)渉外委員会：特になし

6)ホームページ管理委員会：

小林委員長より、ホームページの移管作業終了と管理状況について報告があった。今後も引き続きホームページの刷新を進めるとの報告があった。

7)将来検討委員会：

山次委員長より、資料D-1に基づき、体育測定評価学研究会の非会員の購入について、体育学会時に購入希望された6名にメールを送付したことの報告があった。稲垣学会事務局長より、1名のみ依頼があったと報告された。

8)倫理委員会：

佐藤委員長より、2019年度は2件の申請があり2件とも承認、2020年度は1件の申請があり、現在、修正中との報告があった。

9)選挙管理委員会：

北林委員長より、現在、理事選挙期間中であり、2020年6月19日が投票締め切りであると報告があった。また、6月30日までに選挙管理委員会で投票結果を集計する予定との報告があった。

3. その他として、長澤理事長より、コロナ禍に伴う「複数学会合同による緊急声明の提案について」、石井理事から提案されたと報告があり、今回は、本学会が疫学を専門とする学会ではないことも踏まえ、複数学会合同による緊急声明には参加しないことにしたとの報告があった。ま

た、日本スポーツ体育健康科学学術連合 2020 年度総会〔6 月 27 日(土) ; 11:00~12:00 予定〕と日本体育学会定時社員総会〔6 月 27 日(土) ; 13:30~15:30〕が開催される予定との報告があった。石井理事より、「理事会各資料について、元号表記と西暦表記が混在しているので統一された方がよいのではないか」との意見が出され、長澤理事長から、「元号が変わる時期に理事会にて西暦表記に変更することが決められている」との説明がなされた。理事会資料は、令和 2 年度以降は、西暦表記とすることが確認された。

〔事前配布資料〕

- 資料 A-1 研究推進・助成委員会資料〔研究助成(審査)に係わる協議事項など〕
- 資料 A-2 2020 年度 研究助成申請書審査結果一覧表(案)
- 資料 A-3 H30 年度および 2019 年度 研究助成報告書審査結果一覧表(案)
- 資料 A-4 平成 30 年度および 2019 年度 研究助成報告書および収支報告書の審査結果報告(案)
- 資料 B-1 学会大会委員会資料
- 資料 B-2 日本体育測定評価学会第 20 回記念大会案内(案)
- 資料 C-1 編集委員会資料
- 資料 D-1 将来検討委員会資料
- 資料 E-1 2019 年度日本体育測定評価学会会計報告
- 資料 E-2 2019 年度日本体育測定評価学会会計決算報告書
- 資料 E-3 日本体育測定評価学会第 19 回大会収支報告書
- 資料 F-1 名称変更に伴う会則(第 1 条名称、第 2 条目的、第 3 条事業)などの改正について(案)

以上で、議事を終了し、散会とした。

この議事録が適正に作成されていることを認めます。

議事録承認 2020 年 6 月 25 日

議事録署名人 萩 裕美子 ㊟

議事録署名人 中野 貴博 ㊟

議 長 長澤 吉則 ㊟

以上

〔※平成 25 年度第 1 回理事会議事録から、学会ホームページ公表用議事録には議事録署名人および議長の直筆署名と印は示さず、署名捺印された書類は学会事務局で保管することになりました。〕